

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

情報科学部 学士（情報科学）

建学の精神「自由、愛、正義」の下、豊かな人間性を備え、教育のモットーである「創造と人間性」を発揮する幅広い教養と、情報科学の技術者あるいはメディア・クリエイター、指導者として長年に渡って産業と社会の発展に貢献できるように、情報科学の基礎知識と実践的技術、さらには豊かな人間性も兼ね備えることを求める。

1. 総合教育科目の多面的履修を通じて、基礎学力を養う。また、豊かな人間性と専門分野を超えて問題を探求する姿勢を身につけること
2. 共通教育科目の履修を通じて、情報科学分野に共通する基礎力と社会人として必要な人間的能力を養うこと
3. 専門教育科目の履修を通じて、コンピュータシステム専攻においては、コンピュータシステムについての知識と技術を修得し、コンピュータシステムの開発において実践的な能力を発揮することができること
4. 専門教育科目の履修を通じて、メディア情報専攻においては、種々のメディアを用いたコンテンツの開発手法についての知識と技能を修得し、コンテンツの開発において実践的な能力を発揮することができること

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学部

情報倫理を身につけ、広く産業および社会に貢献できる人材を養成するため、情報科学技術の基礎を修得させ、その発展としてコンピュータシステムや情報コンテンツの開発能力を養う教育課程を配する。

<情報科学科>

情報技術者を養成するために、ソフトウェアを中心にハードウェア、情報ネットワーク、組込みシステムなどのコンピュータシステムを幅広く学ぶ教育課程（コンピュータシステム専攻）と、メディア・クリエイターを養成するために、様々な情報コンテンツの開発能力の育成を目的とした教育課程（メディア情報専攻）を配する。

1. 2つの専攻の共通基礎として、情報科学の基礎、プログラミング、コンピュータ、情報ネットワークを学び、その発展として、コンピュータシステム専攻では組込みシステムや業務システムなどのコンピュータシステム、メディア情報専攻では情報コンテンツの開発能力を養成
2. バランスを考慮した教育課程を配し、基礎的概念・知識・方法論と実践的能力を養成
3. 演習重視の教育課程を配し、TAなどを活用するきめ細かな指導により、学生の意欲を引き出すとともに実践的能力を養成
4. 実社会や地域の産業との関係を視野に入れることのできる人間力を養成

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

情報科学部

<情報科学科>

本学科は卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）に定める教育を受けるため、次に挙げる「求める学生像」ならびに「入学時まで学習が望ましい教科、科目、資格等」を備えた人材を求めます。

「求める学生像」

1. コンピュータとソフトウェアに興味のある人
2. コンピュータやネットワークの高度利用技術を勉強したいと考えている人
3. CGなどを駆使した、Webデザイン、ビデオ制作、DTPなどのコンテンツ作成に興味のある人
4. メディア処理技術を勉強して、メディア・クリエイターになりたいと希望する人

「入学時まで学習が望ましい教科、科目、資格等」

1. 数学、英語を高校の教科書を中心に勉強しておくこと。
2. 数学では数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bを理解していることが望ましい。
3. 英語では高校で学んだ内容を理解し、基本的な読み書きや会話ができることが望ましい。
4. コンピュータに関する情報科学技術の学習を希望する人は数学Ⅲや物理基礎、物理も理解していることが望ましい。